

Mizuho Daily Market Report

2024/2/7

為替

通貨	アジア終値	NY終値	前日比	前週比*
JPY	148.47	148.68	+0.30	+1.18
EUR	1.0780	1.0743	▲0.0045	▲0.0090
AUD	0.6513	0.6483	▲0.0029	▲0.0128
SGD	1.3443	1.3471	+0.0042	+0.0069
CNY	7.1976	7.1985	+0.0050	+0.0181
MYR	4.7542	4.7490	+0.0320	+0.0155
THB	35.78	35.80	+0.55	+0.22
IDR	15706	15705	+47	▲105
PHP	56.28	56.29	+0.36	+0.00
INR	83.04	83.06	+0.14	▲0.08
VND	24369	24383	+30	▲160

金利

国債利回り	終値	前日比	前週比*
米国(10年)	4.158%	+13.8 bp	+8.4 bp
日本(10年)	0.725%	+5.3 bp	+0.2 bp
ユーロ圏(10年)	2.316%	+7.5 bp	+8.1 bp
オーストラリア(5年)	3.721%	+12.7 bp	▲8.4 bp
シンガポール(5年)	2.892%	+10.0 bp	+2.4 bp
中国(5年)	2.280%	▲1.5 bp	▲5.2 bp
マレーシア(5年)	3.568%	+6.4 bp	+2.2 bp
タイ(5年)	2.379%	+1.8 bp	+0.5 bp
インドネシア(5年)	6.540%	+10.9 bp	▲1.6 bp
フィリピン(5年)	5.985%	+0.1 bp	▲1.3 bp
インド(5年)	7.062%	+4.9 bp	▲2.1 bp
ベトナム(5年)	1.600%	+0.0 bp	▲15.0 bp

株

株価指数	終値	前日比	前週比*
DOW(米国)	38,380.12	▲0.7%	+0.1%
N225(日本)	36,354.16	+0.5%	+0.9%
STOXX50(ユーロ圏)	4,655.27	+0.0%	+0.3%
ASX(オーストラリア)	4,154.01	▲0.1%	▲0.4%
FTSE(シンガポール)	3,134.29	▲1.4%	▲0.2%
SSEC(中国)	2,702.19	▲1.0%	▲6.3%
SENSEX(インド)	71,731.42	▲0.5%	▲0.3%
JKSE(インドネシア)	7,198.62	▲0.6%	+0.6%
KLSE(マレーシア)	1,511.34	▲0.3%	▲0.3%
PSE(フィリピン)	6,728.22	+0.3%	+1.5%
SETI(タイ)	1,383.93	▲0.0%	+0.6%
VNINDEX(ベトナム)	1,186.06	+1.2%	+0.9%

商品

商品スポット・先物	終値	前日比	前週比*
CRB	268.19	+0.2%	▲1.0%
金	2,025.11	▲0.7%	▲0.4%
原油(WTI)	72.78	+0.7%	▲5.2%
銅	8,374.34	+0.0%	▲1.0%

*1週間前の終値と比較

【本日の予想レンジ】

USD/JPY	147.00	-	149.00
EUR/USD	1.0720	-	1.0900
AUD/USD	0.6450	-	0.6650
USD/SGD	1.3340	-	1.3490
USD/CNY	7.1700	-	7.2100
USD/INR	4.7120	-	4.7700
USD/THB	35.00	-	35.90
USD/IDR	15600	-	15850
USD/PHP	56.00	-	56.60
USD/VND	82.70	-	83.60
USD/VND	24,300	-	24,600

【本日の相場方向感】

USD/JPY	Bull (7)	>	Bear (1)
USD/SGD	Bull (8)	>	Bear (0)

Contact:
Mizuho Bank, Ltd., Asia & Oceania Treasury Department
Tel. 65-6805-4100

【為替】

アジア時間のドル円は148円台半ばの水準でオープン。目立った指標発表の予定もなく動意に欠ける展開が続き、148円台半ばでもみ合い推移。東京時間午後に入ると、米金利がやや低下する中、ドル円は引き続き軟調に推移し、結局148円台半ばの水準で海外時間へ。アジア通貨はやや軟調。FRBによる早期利下げ観測の後退を背景に米ドルが3カ月ぶりの高値に迫る中、アジア通貨はやや軟調に推移している。

海外時間のドル円は米金利が戻す展開に買戻しが入り148円台後半へ上昇も、小幅反落し148円台半ばの水準でNYオープン。米金利が低下する動きが続き、ドル円は軟調推移。148円台を割り込む展開。NY時間午後はマスター・クリブランド 連銀総裁の「時期尚早の利下げは間違い」や、カシュカリ・ミネアポリス 連銀総裁の「インフレを巡り、まだ最終地点に到達していない」等との舐派発言が相次ぐも、ドル円は反応薄。続いて発表された米3年債の堅調な入札結果を受け、147円台後半での上値重い値動きが続き、147円台後半の水準を維持しクローズ。

【金利】

米債市場ではカーブがフル・スティープ化。目立った材料はなかったものの、地銀株が再び急落したことや、足元の大幅な米金利上昇の材料出尽くしによる買戻しもあり、NY時間に金利低下。3年債入札が堅調な結果となると中期ゾーンを中心に金利は低下幅を拡大。

【予想】

本日のドル円は小幅に円高方向に推移する展開を予想。昨日に引き続きFRB関係者の講演が控えており、昨日のマスター氏、カシュカリ氏と同様に早期の利下げ期待をけん制する内容が見られると予想する一方、ドル円の反応は限定的とみる。

【本日の予定】

(日本) 12月 国際収支:経常収支、1月 景気ウォッチャー調査、1月 東京オフィス空室率、1月 銀行貸出動向
(日本) 輪番 1-3y、3-5y、5-10y、10-25y
(アジア) 12月 フィリピン 失業率
(アジア) 1月 インドネシア 消費者信頼感指数
(アジア) インド 金融政策会合
(欧州) 独 国債入札(7Y)
(米国) 12月 卸売在庫(確)
(米国) MBA住宅ローン申請指数
(米国) ウィリアムズ・NY連銀総裁講演
(米国) ウォラーFRB理事講演
(米国) カシュカリ・ミネアポリス連銀総裁講演
(米国) クックFRB理事講演
(米国) バーFRB理事、ホスティック・アトランタ連銀総裁講演
(米国) 国債入札(10Y)

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定はお客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権は必ずしも銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。転送もお控えください。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。